

令和元年度 第2回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和2年2月26日(金)
開会：10時30分 閉会：11時30分
- 2 開催場所 山北町役場401会議室
- 3 出席者(敬称略)
 - (1) 委員 6名
山北町長 湯川 裕司
山北町教育委員会教育長 石田 浩二
山北町教育委員会教育長職務代理者 野地 泰次
山北町教育委員会委員 小菅 正子
山北町教育委員会委員 今村 敏雄
山北町教育委員会委員 佐藤 直美
 - (2) 事務局 2名
参事兼企画政策課長 瀬戸 靖
企画政策課主幹 平野 泰輔
 - (3) オブザーバー 2名
学校教育課長 高橋 英治
生涯学習課長 松田 浩義
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議概要
 - 1 開会 瀬戸参事兼企画政策課長
 - 2 町長あいさつ 湯川町長
 - 3 教育長あいさつ 石田教育長

4 議 題

湯川町長

(1) 令和2年度当初予算案の概要について

議題(1)「令和2年度当初予算案の概要について」ですが、先般2月13日の議会全員協議会において、また記者発表において説明させていただいたところですが、当初予算の編成にあたり、教育施策に対する私の考え方について述べさせていただきたいと思います。

私は、今後、子ども達が勉強しやすいよう、時代に合った教育環境の整備に取り組んでいかなければならないと考えています。全国的にICTを活用した教育が進む中、タブレットの導入はどの自治体でも実施しているところですが、例えば、中学校の英語の授業でICレコーダーを活用するといった工夫もできるのではないかと思います。教育委員の皆さんからのご提案も頂きながら、山北町らしい特色ある教育環境を充実させていきたいと考えています。

それでは、当初予算案の詳細につきましては、事務局より説明をお願いします。

事務局

別紙「令和2年度当初予算案の概要」により説明。

湯川町長

ただいま「令和2年度当初予算案の概要について」説明がありましたが、ご意見、ご質問などがありましたら発言をお願いいたします。

石田教育長

学校間交流事業につきましては、三保小学校が統合する関係で、さらなる交流事業の充実を図るため増額していただきました。

その中で、三保小学校の水泳の授業につきましては、プールの漏水がかなりひどい状況のため、令和2年度からは使用できません。川村小学校のプールを利用した授業となりますと天候の影響を受けてしまいますので、健康福祉センターの温水プールをお借りし10時間ほどの実施を予定しています。

佐藤委員

私は、放課後子ども教室に携わっていますが、この事業にこれほどの予算が充てられていることを初めて知りました。

石田教育長

放課後子ども教室については毎週水曜日実施していますが、2年前から夏休みも開催するようになり、子どもの居場所を確保するという観点から考えれば、週に1回の実施でよいのか、予算の面もありますが、今後の検討になろうかと考えています。

湯川町長

小学校の統合に伴って、三保地区の児童についても、登下校のメールシステムに入るようになりますか。

高橋学校教育課長

現在、川村小学校の児童全員にカードを配布していますので、三保小学校が統合した際には、同様にカードを全員に配布いたします。

石田教育長 このシステムを導入した時は、三保小学校からの希望はありませんでしたが、統合されれば殆どの方が希望されるのではないかと思います。なお、清水小学校が統合した時は全員が希望されるなど、登録者は年々増加しています。

高橋学校教育課長 カードは全員に配布しますが、システムの利用には実費がかかります。

石田教育長 1回登録すれば6年間有効となるシステムで、登録費は1,600円です。

湯川町長 現状、運用に問題点はありますか。

石田教育長 システム的には大きな問題点はないと聞いていますが、子ども自身の押し忘れや、下校中の寄り道などで保護者が心配するケースはあるようです。

今村委員 保護者にメールで通知が入りますので、とても良いシステムだと思います。

野地委員 子ども達の行動が管理されているとも考えられますが、このような時代でするので有り難いシステムだと思います。

湯川町長 子ども達の安全・安心を守るためには必要なシステムだと思います。自治体によっては、保育園や幼稚園の活動の様子をスマートフォンで見られるシステムもあるようです。経費もかかることですので、全てのシステムを導入できるわけではありませんが、今後、山北町の子どもにとって必要なシステムは何かの調査研究していく必要はあると思います。

そのほかによろしいでしょうか。それでは「令和2年度当初予算案の概要について」は以上とさせていただきます。

(2) 教育の諸課題について

湯川町長 次に、議題(2)「教育の諸課題について」石田教育長より説明をお願いします。

石田教育長 資料説明に入る前に、これまでの総合教育会議の中で、教員の働き方改革について意見交換を行ってきましたが、先ほど開催しました定例教育委員会の中で、山北町としての働き方改革の方針を策定いたしました。時間外勤務の上限を1か月45時間、1年360時間と明記しました。しっかり対応していきたいと考えておりますので、これまでと同様に、町からの人的支援、環境整備の充実について引き続きお願いしたいと思います。

本日、意見交換する教育課題といたしましては、三保小学校を統合していく中で、今後の山北町の教育をどのように進めていくのか、意見交換させていただきたいと思います。まずは統合をスムーズに行う事が重要です。そして統合後は、各幼稚園、保育園、こども園があり、それらが小学校1校にまとめ、中学校1校、さらには連携協定を結んでいる県立山北高校がある中で、山北町

の教育環境が大きく変わってくると思います。

そのような中、国から新たな教育の在り方について示されておりますので、それも含めて意見交換させていただきたいと思います。

資料1により説明。

山北町では現在、小学校では3人に1台、中学校では6人に1台のパソコンが配備されており、現在の国の基準は満たしていますが、今後は、1人1台パソコン「ギガスクール」がうたわれていますので、ハード面、ソフト面共にICT環境のさらなる充実が必要となります。

また、令和4年度を目途に小学校高学年から教科担任制を導入すべきともされており、小中学校の連携のあり方についても検討を進める必要があると示されているところです。そのような国の考え方も踏まえた中で、今後の山北町の教育の在り方について考えていかなければいけないと考えております。

先ほど、町長から「山北町らしい教育を」というご発言もいただきました。山北町では現在、幼稚園、保育園、こども園も含めた一貫性のある教育を目指し、連携を深めています。施設までは難しいと思いますが、一步踏み込んで、今後は一貫教育も視野に入れた中で取り組んでいかなければならないと思います。

湯川町長 ただいま石田教育長より「教育の諸課題について」説明がありましたが、ご意見、ご質問などがありましたら発言をお願いいたします。

石田教育長 平成31年3月時点での、神奈川県における学校のICT環境整備の現状ですが、全国的に見ると低い状況となっております。また、ドローンを利用したプログラミング教育についても、山北町は森林が豊かですので、今後の教育のツールの一つとして考えられるのではないかと思います。

湯川町長 ギガスクールを進めるにあたって、先生の人員、人材の確保について、国ではどのように考えているのでしょうか。

石田教育長 今後はデジタル教科書等も導入されることとなります。先生方自らの研修だけでなくICTの専門家による指導も必要になってくると思われれます。

湯川町長 町内の鹿島山北高等学校にICTの専門家がいれば、派遣していただくことも検討してみてもどうかと思います。

野地委員 小学校で英語と道徳が正式な教科となり、プログラミング教育も導入され、人事評価もあるような状況の中で、ベテランの先生方の中で勸奨退職者が増えている状況があります。一方で教員の成り手が減少しており、教員の質の低下が避けられない状況に進んでおり心配しているところです。国が進めることは

内容的には素晴らしいことだと思いますが、教員の働き改革に逆行しないよう、今後も、町からの人的支援や環境整備の充実をお願いしたいと思います。

今村委員

先日、学校の連絡帳を「LINE」で行っているという取り組みをニュースで見ました。ICT教育が進む中で、先生方の業務量軽減につながり、働き方改革につながるのであれば、山北町でも取り組んでよいのではないかと思います。

佐藤委員

ICT教育が進む中、小さい頃からタブレット等の画面を見る時間が増えることで、目や脳への負担も大きくなると思いますので、自然環境の中で自分を取り戻すような取り組みも必要だと思います。

小菅委員

昔とは違い、今の子ども達はタブレット等を活用して、電車や外出先、いつでもどこでも勉強できることはプラスだと思いますので、健康面に考慮しながら取り組んでいく必要があるかと思います。

石田教育長

山北高校の総合的な学習の時間の授業を見ていますと、発表にしてもアンケートにしても、全てスマートフォンを用いて行っています。県立高校でそのような状況ですので、近いうちに小中学校でも同じような状況が出てくるのではないかと思います。

野地委員

町の教育を考えた時には、ICT化に伴う弊害も考えていかなければなりません。ここ50年の日本の特徴として、不登校とひきこもりが上げられます。人は自然の中で生きていくものです。バーチャルの世界に依存して、人間関係が構築できない人が増えています。学校の根幹は人づくりですので、操作を覚えることではありません。ICT教育を進める一方で、人間同士の係わりを深めて行く必要があると思います。もう一つ、自殺者は全体としては減少しているものの、3万人近い人が自殺している現状と、若年層の率的にはあまり変わっていないことに目を向けて、自殺者を出さないような教育を行っていく必要があると思います。

石田教育長

山北町は人権教育をベースにしています。時代と共に変わっていくことがある一方で、変わってはならないことも大事にしていかなければならないと思います。

今村委員

アナログな部分も大事だということだと思います。自然が豊富なことや、人と人との繋がりが近いことなど、それができるのが山北町だと思います。バランスを取ることが大事だと思います。

湯川町長

私も山北高校の授業を拝見しました。一人ではなくグループで作り上げるという経験が今後の人生の中で生きてくるのではないかと考えています。

そのほかによろしいでしょうか。それでは「教育の諸課題について」は以上とさせていただきます。本日の会議の議題は、これですべて終了となりましたので、進行を事務局にお返しします。

5 その他

(事務局)

それでは、「5」の「その他」でございますが、事務局から1点、事務連絡をさせていただきます。来年度の会議日程でございますが、基本的には本年度と同様、1回目を町の予算編成時期である11月頃、2回目を2月頃に実施したいと考えておりますが、その他議題がある場合は、随時開催したいと考えております。具体的な日程につきましては、改めて調整をさせていただき、ご連絡させていただきます。

6 閉 会 瀬戸参事兼企画政策課長

以 上